

実施計画事業名		農業委員会活動促進事業		評価対象年度	平成 23 年度		
評価担当部署		農業委員会事務局		課長(主幹)名	新岡 英俊		
総合計画体系	分野	5	産業振興				
	政策	1	自然を活用した産業の体質強化				
	施策	2	安全・安心な農畜産物の供給に努めます				
	関連施策						
現状と課題	現在の農業経営は、施設等の近代化に伴う投資や生乳の消費低迷、配合飼料等の経費高騰により農業情勢は厳しく、さらに農業後継者の高齢化や後継者不足もあり、離農者が増え、地域農業は厳しい状況にある。						
目的	農地を適正に管理することで、農業経営の効率化と安定化を図り、担い手の育成・確保に努め、自然環境に配慮した農業を推進し、活力のある農村形成を図る。						
施策展開の	農地法等の実施と併せ「農地を守り、活かす」ための活動し、関係機関・団体と連携して優良農地の確保と認定農業者等の担い手への農地利用集積の取組みと強化を図る。農業者年金の加入促進に向け強化を図る。						
成果指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度
	耕作放棄地解消目標面積		ha	目標	10	10	10
活動指標	名称		単位		22 年度	23 年度	25 年度
	農地権利関係調整事務処理		件	目標	67	60	60
事業費の実績	説明		農地又は採草放牧地について権利の移転等を行うための申請受付件数+現況証明願受理件数(いずれも農業委員会総会に上程される件数)		実績	101	56
	農地パトロール調査箇所数		箇所	目標	20	20	20
事業費の実績	説明		耕作放棄地等パトロール(一斉)を行う対象箇所数		実績	20	13
	農業者年金加入促進回数		回	目標	12	12	12
事業費の実績	説明		1年間に開催した総会の回数		実績	12	12
	耕作放棄地面積		ha	目標	154	140	120
事業費の実績	説明		耕作放棄地(遊休地を含む)の合計面積		実績	154	160
	直接事業費(A)		千円	22 年度 (決算)	23 年度 (評価年度決算見込)	24 年度 (予算)	備考
事業費の実績	国庫支出金		千円	6,577	7,708	10,949	
	道支出金		千円	0	0	0	
事業費の実績	起債		千円	3,487	4,259	4,598	
	その他		千円	0	0	0	
事業費の実績	一般財源		千円	994	742	867	
	この事業にかかる職員数		人/年	2,096	2,707	5,484	
事業費の実績	人件費(B)		千円	2,40	2,40	2,40	
	計(A+B)		千円	16,298	16,690	16,690	
状況変化	計(A+B)		千円	22,875	24,398	27,639	
	実施計画当初(平成21年~)からの状況変化 平成21年12月施行の農地法の改正に伴い、事務事業量が増加。						

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 耕作放棄地の解消に向けて、今後、これまで以上に所有者と緻密な協議を行う必要がある。

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 関係部署との連携強化を図る。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--